

安全データシート (SDS)

1 化学品及び会社情報

化学品の名称

製品名 ヨウ化水素酸
製品コード

会社情報

供給者の会社名称 株式会社合同資源
担当部署 営業部
住所 〒299-4333 千葉県長生郡長生村七井土 1545-1
電話番号 0475-32-2302
Fax 番号 0475-32-1115
電子メールアドレス sales@godoshigen.co.jp
緊急連絡先 電話番号 (株) 合同資源 千葉工場
(夜間・祝祭日) 0475-32-2122

推奨用途及び使用上の制限

一般工業用途

2 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

引火性液体 区分外
自然発火性液体 区分外
自己発熱性化学品 区分外
金属腐食性物質 区分 1

健康有害性

急性毒性（経口） 分類できない
急性毒性（経皮） 分類できない
急性毒性（吸入：粉塵・ミスト） 分類対象外
皮膚腐食性／刺激性 区分 1
眼に対する重篤な損傷性／
眼刺激性 区分 1
特定標的臓器毒性（単回ばく露） 区分 1（呼吸器）
特定標的臓器毒性（反復ばく露） 区分 1（呼吸器）

環境有害性

水生環境有害性 短期（急性） 分類できない
水生環境有害性 長期（慢性） 分類できない
オゾン層への有害性 分類できない

GHS ラベル要素

絵表示



注意喚起語
危険有害性情報

危険
金属腐食の恐れ
重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
長期にわたる、または反復暴露による(呼吸器)の障害

注意書き

[安全対策]

他の容器に移し替えないこと。
ガス / ミスト / 蒸気を吸入しないこと。
保護手袋 / 保護衣 / 保護眼鏡 / 保護面を着用すること。
取扱い後はよく洗うこと。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。

[応急処置]

飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。直ちに医師に連絡すること。
皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと / 取り除くこと。
皮膚を流水 / シャワーで洗うこと。直ちに医師に連絡すること。
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師に連絡すること。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
気分が悪いときは、医師の診断 / 手当てを受けること。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
物的被害を防止するためにも流出したものを吸収すること。

[保管]

耐腐食性 / 耐腐食性内張りのある容器に保管すること。
施錠して保管すること。

[廃棄]

内容物や容器は、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って、適切に廃棄すること。

他の危険有害性
情報なし

3 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

化学物質

組成及び成分情報

化学名又は一般名：	ヨウ化水素の水溶液
化学特性（化学式）：	H I (aq)
含量：	ヨウ化水素 57%、水 43%
C A S 番号：	10034-85-2（ヨウ化水素）
官報公示整理番号 化審法・安衛法：	1-364（ヨウ化水素）

4 応急措置

ばく露経路による応急措置

吸入した場合	直ちに空気の新鮮な場所に移し、安静、保温に努め、速やかに医師の手当を受ける。呼吸が停止している場合には人工呼吸を行い、呼吸が困難な場合には酸素吸入を行う。
皮膚に付着した場合	直ちに汚染された衣服や靴を脱がせる。触れたところは大量の水で洗い流す。速やかに医師の手当を受ける。
眼に入った場合	直ちに流水で15分以上洗眼した後、医師の手当を受ける。洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水がよく行き渡るように洗浄する。
飲み込んだ場合	目をこすったり閉じたりしないようにする。大量の水を与える。意識がない場合、何も与えてはいけない。速やかに医師の手当を受ける。

応急措置をする者の保護に必要な注意事項

救助者は、状況に応じて適切な眼、皮膚の保護具を着用する。

5 火災時の措置

適切な消火剤

不燃性。周辺の火災状況に適応する消火剤を使用。

使ってはならない消火剤

直接、化学粉末消火剤を使用しないこと。

火災時の特有の危険有害性

有害ガス（HI 等）が発生する。

特有の消火方法

周辺火災の場合、速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は、周辺に散水して冷却する。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

保護具を着用し、風上から作業する。

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

保護具を着用し風上から作業する。

環境に対する注意事項

漏出液、洗浄液が河川等に直接排出されないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

徐々に水で希釈し、消石灰やソーダ灰等の水溶液で中和し、土砂等に吸着させて空容器に回収する。その後を多量の水で洗い流す。

二次災害の防止策

風下の人を退避させ、漏洩した場所の周辺にロープを張るなどして人の立ち入りを禁止する。金属製の道具を使用しない。

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

作業場に局所排気装置を設置する。

安全取扱注意事項

休憩所には手洗い、洗眼等の施設を設ける。

吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に触れないように、適切な保護具を着用し、できるだけ風上から作業する。

接触回避

「10.安定性及び反応性」を参照。

衛生対策

取扱い後は、手、顔など身体をていねいに洗浄する。この製品を使用する時に、飲食又は喫煙しないこと。

保管

技術的対策

混触禁止物質

「10.安定性及び反応性」を参照。

保管条件

直射日光を避け、適当な換気のある冷暗所に貯蔵し、密封して空気との接触を避ける。

安全な容器包装材料

ポリエチレン

8 ばく露防止及び保護措置

許容濃度（ばく露限界値、生物学的指標）

日本産業衛生学会（2021）

0.1 ppm、1 mg/m³（ヨウ素として）

ACGIH TLV-STEL（2021）

0.1 ppm（Iodine vapor）

ACGIH TLV-TWA（2021）

0.01 ppm（Iodine and Iodides as inhalable fraction and vapor）

設備対策

屋内作業場での使用は発生源の密封化、又は局所排気装置を設置する。

取扱い場所近くに安全シャワー、手洗い、洗眼設備を設け、その位置を明確に表示する。

保護具

呼吸用保護具

酸性ガス用防毒マスク、空気呼吸器

手の保護具	保護手袋
眼及び/又は顔面の保護具	保護眼鏡（ゴーグル型）、保護面
皮膚及び身体の保護具	保護衣、保護長靴

特別な注意事項

情報なし

9 物理的及び化学的性質

物理状態	液体
色	無色～淡褐色
臭い	刺激臭
融点	該当しない
沸点	127℃
可燃性	該当しない
爆発限界及び爆発上限界／可燃限界	なし
引火点	データなし
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	1 (0.1mol/L)
動粘性率	データなし
溶解度	水への溶解度 57g/100ml (20℃)
n-オクタノール／水分配係数 (log 値)	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び/又は相対密度	1.6g/mL
相対蒸気密度	データなし
粒子特性	データなし

10 安定性及び反応性

反応性	金属を腐食する。
化学的安定性	通常の手扱い条件においては安定であるが、光、熱には不安定（着色）。
危険有害性反応可能性	金属との反応で水素が発生する。 中和、希釈等により発熱する。
避けるべき条件	光、熱、空気との接触。
混触危険物質	金属、アルカリ、アミン
危険有害な分解生成物	火災の場合、有害ガス（HI 等）が発生する。

11 有害性情報

製品の有害性情報

急性毒性（経口）	分類できない
急性毒性（経皮）	分類できない
急性毒性（吸入：粉じん／ミスト）	分類対象外
皮膚腐食性／刺激性	GHS 分類: 区分 1

粘膜、上気道、皮膚を激しく刺激する。重篤な皮膚の薬傷。

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

GHS 分類: 区分 1

目を激しく刺激する。重篤な眼の損傷。

呼吸器感作性

データなし。

皮膚感作性

データなし。

生殖細胞変異原性

データなし。

発がん性

データなし。

生殖毒性

データなし。

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

GHS 分類: 区分 1 (呼吸器)

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

GHS 分類: 区分 1 (呼吸器)

誤えん有害性

データなし。

12 環境影響情報

製品の環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性 短期（急性）

データなし。

水生環境有害性 長期（慢性）

データなし。

残留性・分解性

データなし。

生体蓄積性

データなし。

土壌中の移動性

データなし。

オゾン層への有害性

データなし。

その他の影響

土壌、水域の pH を低下させ、生態に影響を及ぼす。

13 廃棄上の注意

残余廃棄物

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等に基づき、特別管理産業廃棄物（廃酸）として適正な処理を行う。

少量の場合は、徐々に水で希釈し、消石灰やソーダ灰等の水溶液で中和し、洗い流す。

汚染容器及び包装

容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14 輸送上の注意

国際規制

国連番号

1787

品名（国連輸送名）

HYDRIODIC ACID

国連分類（輸送における危険有害性クラス）

8

副次危険性

—

容器等級

II

陸上輸送

ADR/RID の規定に従う

海上輸送

IMO の規定に従う

航空輸送
海洋汚染物質：非該当
IBC コード：非該当
ICAO/IATA の規定に従う

国内規制

陸上規制情報 消防法、毒物及び劇物取締法、道路法に従う
海上規制情報 船舶安全法に従う
航空規制情報 航空法に従う

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策：

車両によって運搬する場合は、荷送人は運送人に運転注意書を交付する。容器の漏れの無いことを確かめ、横転、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。

15 適用法令

該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報

毒物及び劇物取締法	劇物
労働安全衛生法	名称等を通知すべき危険物及び有害物（沃素及びその化合物）（沃素化合物は沃化物に限る。0.1重量%以上を含有する製剤その他の物）
航空法	腐食性物質
船舶安全法（危規則）	腐食性物質
化学物質管理促進法（PRTR）	該当しない

16 その他の情報

参考文献

NITE GHS 分類結果一覧（2021）
日本産業衛生学会（2021）許容濃度等の勧告
ACGIH, American Conference of Governmental Industrial Hygienists (2021) TLVs and BEIs.

【注意】本 SDS は、JIS Z 7253:2019 に準拠し、作成時における入手可能な製品情報、有害性情報に基づいて作成していますが、必ずしも十分ではない可能性がありますので、取扱いにはご注意ください。本 SDS の記載内容については、新しい知見等がある場合には必要に応じて変更してください。また、注意事項等は通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には用途・条件に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。